

「宮崎県のおしごと本」に本会の仕事内容掲載！

UMK（株式会社テレビ宮崎）制作の「宮崎県のおしごと本」に本会の業務内容が掲載されています！

この「宮崎県のおしごと本」については、県内小学5年生全員（約11,000人）への配布をはじめ、県内図書館や学童・教育関連施設等にも配布されており、本の制作を通じて、県内企業の魅力ある仕事内容を子供やご家庭に広く周知し、地域・子供たちの未来を創る一環として企画されているもので、2022年度版では、本会を含め県内の35の企業の仕事内容が紹介されています。

本会の仕事内容紹介ページでは、本会の様々な事業の中、今回は購買事業と製氷事業について紹介したものとなっており、子供たちに伝わるようわかりやすく記載しています。

また、本以外でも地上波放送の番組CMでも紹介されておりま（年内）。



お仕事 No. 15 購買事業 (石炭・燃料) および製氷事業従事職員

漁業者 (漁師) のおしごとを支えています！

宮崎県内19の漁業協同組合と連携して、各組合に所属している漁業者の船が航行するための燃料を供給し、まぐろをはじめとする大型魚のえさや釣針などの漁具を調達しています。また、漁のあと魚の鮮度を保つために必要な氷を作ったり、船への氷の積み込み作業をしたりしています。漁業者が大海原を安心して航海し、思いきり魚の群れを追い、大漁で安全に帰港で帰ってこれた姿を見ると、大きなやりがいと喜びを感じます。

燃料の積み込み作業
船が積み込み施設に接岸したら、専用のホースで積み込みをします。船によって量は異なりますが、重と薄、たくさんを積み込みするので特製がかります。燃料が海に流れ出さないよう気を付けて作業をしています。

氷の積み込み作業
漁での魚の鮮度を保つためには大量の水が必要で、船が漁に出る前には専用のホースを使い氷を積み込みます。安全で安心な氷を作るためには管理作業も大切です。毎日、機械の点検や整備をおこなっています。

えさの積み込み作業や漁具の配送・配達
船を岸壁に接岸して、船の倉庫へ一階ずつ流れ作業で積み込みをしています。積み込みするえさや漁具などが多いため、事故などに気を付けながら会社の職員や漁業者にも手伝っていただき、協力して作業しています。

こんなことも調べてみよう！

- ★燃料の積み込み作業や管理をするにはどんな資格が必要なの？
- ★船の燃料はガソリンが多いけど、船の燃料はなに？
- ★まぐろのえさってなに？
- ★出戻った氷を保管する貯氷庫の運用は何回くらいなの？

他にもこんな人が働いています

- 総務監督部門職員
- 経理部門職員
- 販売部門職員
- 漁政部門職員
- 合併（経営指導）部門職員

この団体に教えてもらったよ！

漁業者が安心して仕事ができるよう支えます
宮崎県漁業協同組合連合会 (JF宮崎連)

宮崎市南2丁目4番地 電話0985-28-8111
事業/1949年11月 従業員数/役員11名 船員21名
本部/事業課/工場/漁政課/販売課/船政課

JF OK OK

宮崎県漁業協同組合連合会ではこんな仕事をしています

経済事業部門
漁具、養殖用度、船具加工など、漁業者や漁業者に関わる仕事をしています。船に出る前に燃料や氷の積み込みをおこなうのも事業部門の仕事です。

経理・経理部門
職員が働きやすい職場にする工夫や、会社の経営を管理し、会社全体がうまくいくための計画をしています。

漁政部門
海洋資源を守るための決まりことや、漁船の安全航行、海の上で漁業者が安心して仕事ができるような協力体制を作り、問題がおきないようにしています。

合併推進部門
県内各地に19に分かれた19の漁業協同組合を、令和7年4月を目標にひとつのグループにしようとしています。そのため準備や話し合いをおこなっています。

魚食をもっと身近に感じてほしい！シーフード料理コンクール

毎年、魚のレシピを競うシーフード料理コンクールを開催しています。見た目、栄養、味などで総合的に判断します。今年は「ごはんにある魚料理」「心にある魚料理」の2部門、県内産野菜を組み合わせるなど工夫も大切な審査内容です。